

議事録

令和7年度 第1回 富田林市立図書館協議会 議事録

主管課 生涯学習部 中央図書館

- 1 開催日時 令和7年7月24日（木） 午後3時30分～午後5時
- 2 開催場所 富田林市立中央公民館 1階講座室
- 3 出席者 【委員】松井 純子（委員長、大阪芸術大学）、
藤井 郁子（副委員長、富田林子ども文庫連絡会）、
中島 芳昭（公民館運営審議会委員）、藏田 和子（人権擁護委員）、
岡田 奈未子（青少年指導員）、下野 恵子（富田林おはなしの会）、
尾谷 成子（元図書館長）、佐伯 穂高（校長会 図書館担当）、
石田 尚美（園長会 図書館担当）【計9人出席】
（木下 みゆき（大阪大谷大学）は欠席）
【事務局】植野教育長、尾崎生涯学習部長、
山本中央図書館長、道旗金剛図書館長
野島中央図書館館長代理（司会）、木下金剛図書館館長代理（記録）
- 4 開催形態 公開（傍聴人0人）
- 5 次第
 - (1) 教育長挨拶
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 報告並びに議案
報告第1号 令和6年度図書館活動報告について
報告第2号 令和7年度施政方針について
議案第1号 令和7年度図書館活動計画について
 - (4) その他
- 6 審議の経過および審議会等の結果等 要点筆記
傍聴希望者：なし

●報告第1号 令和6年度図書館活動報告について

山本中央図書館長

「富田林市の図書館活動 令和6年度（2023年度）統計」の5ページ「2. 富田林市立図書館略年表」より、令和6年度の図書館活動の主なものについて報告する。

令和6年4月	中央図書館の電話に録音機能追加
令和6年8月	中央図書館で金剛バス写真展開催 図書館システム入替のためプロポーザルの実施
令和6年10月	ICタグ貼付作業実施 金剛駅周辺まちなかウォークアブル社会実験「OPEN STREET+」に参加 金剛図書館の電話に録音機能追加
令和6年11月	公民館まつりにてテーマ展示・リユース図書・じゅうたんコーナーでの読み聞かせ
令和7年1月	図書館システム入替のため全館臨時休館 (令和7年1月14日～令和7年2月3日) 中央図書館に新しい返却ポストを設置(24時間返却が可能) 金剛図書館のカウンターを更新
令和7年3月	中央図書館の文庫架・雑誌架を一部更新 金剛図書館の障がい者駐車場に屋根を設置

令和6年4月より中央図書館に、また10月より金剛図書館の電話に録音機能が追加された。これは、令和7年6月11日に公布された労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律等の一部を改正する法律（令和7年法律第63号）により、いわゆるカスタマーハラスメントについては、雇用管理上必要な措置を講ずることが地方公共団体の各任命権者を含む事業主の義務となる事に先立ち導入されたものである。

令和6年8月20日(火)～9月1日(日)、中央図書館で金剛バスの写真展を開催した。金剛バスは令和5年12月20日に全路線が廃止され、その後、富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村の4市町村の広域協議会による新たな公共交通が各路線を担っている。

今回の写真展は、富田林市在住のアマチュア写真家、宮本勝彦さんが20年間、二上山や石川などの風景を撮りためた中で、金剛バスが映りこんでいる写真を20点ほど展示していただいた。

令和6年10月下旬～令和7年1月末まで約3ヶ月間かけ、本市図書館の全資料（約30万冊）へのICタグの貼付作業と、既存バーコードとの連携作業を業者に委託した。

10月26日(土)10:00から久野喜台1号公園で、金剛駅周辺まちなかウォーカブル社会実験「OPEN STREET+」に参加した。金剛駅周辺まちなかウォーカブル社会実験

「OPEN STREET+」とは、金剛駅前周辺を、賑わいと多様な交流が生まれる空間に変えていくために、住民や事業者が連携し、社会実験等を通じて可能性を検証するために、富田林市が実施主体となりおこなっている事業で、今回が初めての試みとなる。

図書館は「おそとで図書館&読み聞かせ」と題して、絵本や野外で楽しめる雑誌など約500冊の資料を展示し、トータル4回のおはなし会を実施した。一日で63組177名の方にご来場いただいた。自由に絵本を読んだり、折り紙を折ったりしながら楽しんでいただいた。

11月9日(土)と10日(日)に公民館まつりが開催された。令和6年度の公民館まつりでは、公民館と連携し「本と人が出会う場所 図書館でほっと一息」をキャッチフレーズに掲げ、公民館まつりでの催しに関連する資料を図書館閲覧室で展示し、おはなしの読み聞かせを開催するとともに、リユース図書フェアも実施した。

令和7年1月14日(火)~2月3日(月)まで、システム入替に伴い全館で臨時休館した。2月4日は中央・金剛両館で1229人が来館した。

臨時休館のタイミングにあわせ、中央図書館で返却ポストを新調した。図書館閉館時間中は中央公民館・図書館の正面入り口の門扉の所に設置している。中央公民館・図書館の閉館中も24時間返却が可能となった。

森林環境贈与税を活用し、金剛図書館はカウンター一式、中央図書館は文庫架と雑誌架の一部を更新した。

金剛図書館では、北側の障がい者駐車スペースに屋根を設置し障がい者の方が、車いすでも雨に濡れることなく来館できるようになった。

令和6年度の統計について報告する。

貸出冊数について（「令和6年度図書館活動報告」10ページ「7 利用統計」（1）「年度別貸出冊数」より）。

令和6年度の貸出冊数の合計が573,753冊で前年度に比べ約5.7%の減となり、児童書も貸出冊数169,021冊で前年度比、約7.4%の減となった。令和6年度はシステム入替のため、両館共に約1ヶ月の臨時休館があったための減と考える。10ページの表と注意書きにもあるとおり、令和2年3月2日の新型コロナウイルス感染拡大の影響による臨時休館から6年連続で休館を行っているため、中央値がはっきりしない状況である。

予約件数について（「令和6年度図書館活動報告」14ページ② 年度別予約件数より）。

令和6年度の合計が113,612件、前年度と比較すると約9.5%の減となっている。これも休館の影響によるものと考えている。今年度は金剛図書館の空調工事を予定しているが、令和8年度以降は短期的・中期的にも休館になる工事等の計画がなく、日々の窓口業務に専念し、多くの方に図書館をご利用いただけるように魅力発信に努めたい。

ブック便について（「令和6年度図書館活動報告29ページ（4）ブック便」より）。

令和6年度の貸出利用校が14校、貸出冊数が4,213冊である。5年度は16校、3,792冊だった。配本便の依頼が2校減ったにも関わらず貸出冊数が421冊増え、前年度比約11%の増加となった。ブック便の貸出冊数の増加については、学校司書連絡会議や学校司書研修会に図書館司書が参加し、学校司書の方と交流を深め、情報交換を図るなどし、学校図書館との現状を把握し連携を図ることが、貸出冊数の伸びにつながっていると考えている。

幼稚園・保育園つつじ号について（「令和6年度図書館活動報告30ページ（7）幼稚園・保育園つつじ号」より）。

令和6年度の訪園数と貸出冊数は、幼稚園8園で514冊 保育園18園で1,415冊である。5年度と比べると幼稚園が3園から5園増え、貸出冊数は170冊増。保育園は6園から12園増え、貸出冊数は631冊増。どちらも大幅に増加しており、幼稚園・保育園つつじ号の運行が定着し、より多くの子どもたちに本を届けることができた。

行事について（「令和6年度図書館活動報告」32ページより）。

「子ども読書活動推進講演会」防災士の上沢 聡子先生に「乳幼児のいるファミリーと子育て支援者のための防災」をテーマにご講演いただいた。参加者は興味深く熱心に聞き入っていた。

「おとなのための朗読会～音で楽しむ読書～」朗読ボランティアくさぶえの協力のもと開催した。前年度に引き続き大盛況で、10月30日に金剛図書館で、11月21日は中央図書館で開催した。

「いきいき音読教室」は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できていなかったが、令和5年度から再開した。令和5年度の定員が10名だったが令和6年度は定員を15名にした。開催を楽しみに待たれていたのか、申し込みもすぐに埋まり、おひとり欠席されたが14名は大きな声で詩などを暗唱した。

そのほか例年開催している行事については、一覧表の通り。

●質疑応答

【委員】

「令和6年度 富田林市の図書館活動」5ページに令和3年10月に書誌データマークをトーハンマークに変更とあるが、マークとは何か。

【事務局】

本それぞれの書名、著者名、出版社、出版年、ページ数、サイズなど個別のデータを管理する必要がある。昔は紙の目録カードに1枚ずつ手書きし、あいうえお順等に配列していたものを、今はコンピューターで検索できるようになっている。そのデータをマークという。このデータをいくつかの会社が作って販売している。それまで富田林市立図書館が採用していたマークの作成会社が倒産してしまったので、トーハンマークを採用した。

【委員】

「令和6年度 富田林市の図書館活動」13ページ団体貸出冊数について、中学校のクラスへの貸出は0冊なのか。

【事務局】

中学校のクラス担任の先生が来館されての貸出が0冊ということである。ただし学校図書館を通じて利用していただいている。それは学校図書館への貸出数に含まれている。

【委員】

「令和6年度 富田林市の図書館活動」12ページ年齢別貸出人数について、他の年齢層は前年度比90～100%程度であるのに、13～15歳だけが33%に減少しているのはなぜか。

【事務局】

13～15歳の利用について、令和5年度に報告した数字が68%、令和6年度が33%と減少しているが、理由はわからない。

16～18歳は、令和5年度161%、令和6年度で144%と大きく伸びている。前々回の協議会からこの理由を考えている。富田林中学校の生徒や、中学生・高校生ぐらいの利用者と保護者の利用を多く見かけるようになったため、これが要因ではないか。

【委員】

小学生までよく本を読んでいた子どもが、中学生になったらクラブなどで忙しくなり読まなくなる傾向はあるが、急に33%にまで減少するのは気になる。

【議長】

中学生は16～18歳ではなく13～15歳にあたるので、富田林中生がよく利用しているのを見かけるのに減少している理由がよくわからない。前年度多く利用していた13～15歳が今年度16～18歳になり利用が伸びているというのなら理解できるが、それとは違うので釈然としない。

原因を突きとめるのは難しいだろうが、今後調査し、理由が判明したら報告して欲しい。

【事務局】

今後原因の追及をしていきたいと思う。

【委員】

「令和6年度 富田林市の図書館活動」24ページ、実績比率について、他市や全国平均と比べられるようにして欲しい。

【事務局】

来年度から人口規模に近い他の自治体の図書館と比較できるように検討する。

【委員】

中学生はクラブ活動などで忙しく本も読みにくいだろうと思うが、高校生や大学生は色々なことに興味があると思う。Topicは高校生、大学生の利用が多いので、建物内にもっと図書館のような場所があれば良いと思う。TONPAL（多文化共生・人権プラザ）にも人権関係、男女共同参画の本がある。市民が自由に本を手にとって読める場所が図書館以外にもあると知っておきたい。

「令和6年度 富田林市の図書館活動」32ページ行事について。音声訳ボランティア養成講習会、講師前田綾子氏とある。前田先生は90歳で、30年以上講師をしていただいている。前田先生から次の講師を探して欲しいと何度も言われるが、図書館としては何か方策を考えているか。他の音声訳グループも講師の先生を探すのに苦労しているが、ぜひ次の講師を探して欲しい。

【事務局】

図書館も前田先生にご相談しつつ、次の講師を探している。他の自治体と意見交換しているが、今のところ見つからない。

【委員】

「令和6年度 富田林市の図書館活動」26ページ、本が読みづらい方へのサービスについて、富田林市の対面朗読室は倉庫のようなところでしかない。設備の整った対面朗読室を設置して欲しい。対面朗読の利用は4名とあるが、もっと宣伝をして欲しい。

【事務局】

現状、設備の整った対面朗読室を新設するのは厳しい。対面朗読希望者が増えていないという部分についてはPRに努めたいと考えている。

【委員】

「令和6年度 富田林市の図書館活動」6ページ、組織・機構図の構成人数について、職員全員司書資格を持っているのは良いことだ。今年度、職員が1人図書館から異動していったと聞いたが、何年かしたら図書館に帰ってくるのか。

【事務局】

人事に関することなので返答が難しいが、私も図書館から異動し、帰ってきた。図書館で司書としてのスキルを高めていくのも良いが、庶務の仕事などを市役所本庁で学んだ後帰ってきて、両輪で仕事をしていくと良いと思う。

【副議長】

「令和6年度 富田林市の図書館活動」13ページ、自動車文庫（移動図書館つつじ号）利用状況について、幼稚園保育園つつじ号の利用がかなり増えた。東公民館ステーションを廃止し日程をこちらに回した成果が出ていると思う。中学生の利用が減っているというのは残念だが、幼稚園保育園つつじ号で子どもたちに読書の楽しさを教えてあげて欲しい。

司書資格について、今のところ富田林市は資格のある職員を育てていて本当にありがたいと思っている。大阪市は司書資格がなくても良いという契約で業者委託をしてしまったために大混乱をしている。ぜひそんなことにはならないようにして欲しい。

【事務局】

幼稚園保育園つつじ号は前年度、自動車文庫のステーションの東公民館を見直しし、年間約50回の枠を確保した。その枠の中で幼稚園と保育園の要望を聞いて運行している。

【議長】

令和8年度以降は臨時休館の予定は今のところないと発言していたが、中央図書館の建物は築50年ほどでそろそろ改修が必要な時期ではないか。

【事務局】

確かに来年、中央公民館図書館は築50年になる。平成24年に耐震化も含めて長寿命化のために工事をしている。その後、金剛図書館は令和4年度に屋根の防水工事、令和5年度に中央図書館では空調更新工事を行っている。金剛図書館は令和7年度に空調更新工事を行う。

市の長寿命化計画において築60年まで持たせるという計画になっている。今後50年から60年の10年間でどうなるかはわからないが、短期的には工事の予定はないのでご理解いただきたい。

●報告第2号 令和7年度施政方針について

道旗金剛図書館長

令和7年度は戦後80年、阪神・淡路大震災から30年、大阪・関西万博の開幕という三つの節目の年であり、誰もが平和で幸せな暮らしを享受できる権利を持ち、またそのために人々は支え合いながら様々な困難を乗り越える力を持ち、戦争と震災の経験を踏まえ、より良い未来をめざして私たちが生きる大阪・関西の魅力を世界中に広げていくこと、以上3つの事柄をしっかり踏まえ、今年度の市政運営にあたっていくとしている。

「令和7年度施政方針」に文化振興に関する部分を抜粋している。

図書館に関する記述は波線部分の「図書館では、セルフ貸出機能をもった図書館システムを本年2月に運用を開始し、利用者へのサービス向上と業務効率化を一層図ってまいります。」としている。

新システムが本稼働して5ヶ月を経過したが、更新したシステムで追加された便利な機能を、利用者の皆さんにご活用いただき、一層暮らしに身近な図書館であり続けられるよう努めていく。

●質疑応答

【委員】

新たにセルフ貸し出し機が設置されたが、利用率はどうか。

【事務局】

利用率は出せていない。子どもが一番利用している。80歳代ぐらいの方も説明を読みながら利用されている。I C タグの調子が悪くうまく貸出ができない方に、職員がお手伝いに行くと、ついでにいろんなこと聞いてくださり交流ができたこともある。

●議案第1号 令和7年度図書館活動計画について

道旗金剛図書館長

資料「令和7年度図書館活動計画 図書館予算」より

令和7年度予算について。

職員人件費を含めた図書館費は2億4,179万7千円で、令和6年度当初予算から9,444万3千円減額となった。

主な増減を説明する。

昨年度10月に最低賃金が改訂されたことにより、会計年度任用職員の人件費が報酬と期末手当をあわせて279万5千円増額となった。

「委託料」は令和6年度に図書館システムの更新が完了したため4,294万5千円の減額となった。

「使用料」はシステム更新によりベンダーが変わったことにより、83万5千円の減額となった。

「工事請負費」は、令和6年度の第一期金剛公民館図書館空調設備改修工事に引き続き、令和7年度は第二期工事として1階図書館系統の空調設備改修工事を予定している。第一期の令和6年には、空調設備改修工事にあわせて障がい者用駐車場の屋根設置工事を実施した。第二期工事ではその障がい者用駐車場の屋根設置が完了しているため、440万1千円の減額である。

「備品購入費」は令和6年度の図書館システム更新に伴うＩＣゲートの設置や、パソコン等の器機の入替えが完了しているため5,029万円の減額となった。

令和7年度の図書館費の一般会計予算に占める割合は0.47%である。

年度別決算予算について。

資料費は66万5千円の増額である。これは例年、人口の減少がおおよそ0.1%であることから、資料費にそのパーセンテージを反映させて減額されているが、今年度は児童書の充実を図るため、ふるさと納税型のクラウドファンディングで広く寄附を募る試みを進めており、その寄附見込み額が加算されている。

管理運営費は、図書館システム更新が完了しているため、9,942万5千円の減額となり、図書館費総額を令和6年度予算と比較すると9,444万3千円の減となっている。

資料「令和7年度図書館活動計画 図書館事業」より

児童関係の行事「夏休みとしょかんリサイクル工作」と「やってみよう！図書館の仕事 夏休み」は恒例の行事となっており、中央、金剛両館で開催する。「夏休みとしょ

かんりサイクル工作」は本日チラシを配布したが、広報にも掲載し募集が始まっている。参加枠が中央図書館で残すところわずかとなっている。

「やってみよう！図書館の仕事」は人気のある行事で、カウンター作業の体験や本の配架をしていただく。てきぱきと動く子どもや、慎重に返却をする子どもと様々である。最後に感想を聞くと、図書館を好きになってくれていることがわかり、大人になっても継続して利用してくれるきっかけになれば嬉しいと思っている。時には年下の兄弟が閲覧室に見学を訪れ、自分も早く対象年齢になりたいと目を輝かせている様子が見受けられる。

「子どもの心を育てる絵本とおはなし講座」と乳幼児サービスボランティア養成講座「赤ちゃんの笑顔が見たくて！～わらべうたと絵本でつなぐボランティア～」は講師と日程の調整ができたところで、内容について講師と連絡を取り合っているところである。

視覚障がいのある方への録音図書を作製するための技術を学んでいただく「音声訳ボランティア養成講座」については、空調設備改修工事の都合上、例年より4か月前倒しで5月から開始している。

音声訳ボランティアグループくさぶえのメンバーによる「おとなのための朗読会」も、音声訳ボランティアグループくさぶえのご協力によりプログラムを選定しているところである。朗読会は例年の開催日程が秋ごろだが、広報に掲載される前に問い合わせがあるくらいに好評である。

各関係課との連携について。

市及び教育委員会主催の「とっぴーと読もう！読書感想文コンクール」に協力し、児童室へのチラシの配架に加え、コンクールの題材に借りていただけるよう、おすすめの本の展示、貸出を行う。

高齢介護課主催の「認知症の本を読もう！MEET富田林コンクール」への協力で、今年度も夏休みに向けて関連本の展示コーナーを設置し、チラシの配布、貸出を行う。

本庁各課からの依頼による本の展示については、5月末から6月の世界禁煙デー、6月の男女共同参画週間、8月の戦争展、9月の自殺予防週間、10月の「がん検診受けてや！」月間、11月の介護月間、3月の自殺対策月間など関連本を展示・貸出する。

庁内LANシステムを通じて「業務に役立つ図書館の本」を職員に紹介し、予約があれ

ば事務用貸出で連絡箱に届けることもしている。事務用貸出は本庁だけでなく小中学校・幼稚園の先生から依頼された資料も連絡箱へ届けている。

先に予算のところで報告した金剛公民館図書館の空調設備改修工事の第二期工事を、令和8年1月から3月に予定している。今年度は1階図書館系統の改修をするので、その間金剛図書館を休館し、玄関で予約資料を渡すことのみ対応をする。

●質疑応答

【副議長】

市庁内の事務用貸出について、どのぐらい活用されているか。

【事務局】

「令和6年度 富田林市の図書館活動」13ページ、団体貸出冊数の表に市役所各課という欄がある。令和6年度は合計で35冊、1ヶ月に1～2回の利用である。

【副議長】

市役所にも図書館の価値を知っていただきたいので、広報し活用していただきたい。

【委員】

2点ある。

中学生の図書館利用が減少していることについて。小学校では富田林おはなしの会によるおはなし会、市立図書館の一年生図書館オリエンテーション、学校図書館司書が本に親しむ機会を作るなどし、下地はできていると思う。去年は葛城中学校の生徒が大阪府ビブリオバトルの大会で準優勝した。中学校はクラブ活動などが忙しくなって図書館に行くのは難しくなるが、何か中学校向けの授業や行事があれば良いという感想を持った。

あと1点、本校にベトナムから生徒が転校してきた。最近海外に繋がりのある子どもが増えてきている。その子どもたちのために、日本の昔話などを各国の言葉で翻訳されたものや、各国の言語の本などがあれば活用させていただきたい。

【事務局】

日本の紙芝居をベトナム語に翻訳して、ベトナムで広める活動をしている図書館利用者がおられる。その方がベトナムで手に入れたベトナム語の本を富田林図書館に寄贈を申し出てください。また、ベトナムの出版関係の方とつながりができたので、日本で出版されてベトナム語に訳されている本を持ち帰り、それも寄贈いただけるという話をしている。春頃から始まり、データの作成方法などを考えているところ。

【委員】

富田林市立図書館にない言語の本も、大阪府立図書館にスペイン語など諸外国の本があり借りることができるので、市立図書館に問い合わせると良いと思う。

【委員】

私はボランティアとして、日本語の読み書き教室に関わっている。海外から来た家族の中でも、子どもはすぐ日本語が上手になる。ところがご両親は日本語の習得が難しい場合があり、子どもが親に通訳をしなければならなかったりして、親子間のコミュニケーションギャップがでてくる。

親は子どもに日本の学校に慣れて欲しいが、母語も忘れて欲しくないという気持ちがある。日本語、母語の両方とも理解できる子どもが育つと一番いいと思う。

【委員】

「令和7年度図書館活動計画 図書館事業」について、乳児から高齢者まで幅広く色々な講座を開催していることに感銘を受けた。幼稚園には図書館から講座の案内チラシが届くため、配布や掲示の協力をしている。

「令和6年度 富田林市の図書館活動」30ページ、保育園幼稚園つつじ号について、去年は幼稚園8園が利用した。私の在勤している幼稚園も2回ほど利用し、とても良かった。幼稚園つつじ号を利用した子どもが、家に帰ってから母親にとっても楽しかったと話をしたため、その後親子で市立図書館に行ったところ、本がたくさんあり良かったという感想を保護者から聞いた。

幼稚園保育園つつじ号は、職員のリクエストした本を持ってきていただき、子どもたちと一緒に借りることもできてすごくよかったと思い、今年度も申し込みをした。

【委員】

「令和6年度 富田林市の図書館活動」26ページ、本が読みづらい方へのサービスについて、朗読CDの利用率はわかるか。

またDVDについて、私は民生委員児童委員協議会児童部会の部会長をしている。昨年、「むかしの富田林～1950年代はじめ 新堂地区の子どもたちの生活」というDVDを作った。それを図書館に置いて欲しい。

【事務局】

CDの中で、音楽、朗読、落語など内容で分けて統計は取っていないので利用率はわからない。DVDは「令和6年度 富田林市の図書館活動」11ページ資料別貸出冊数に72件とある。

お申し出のDVDは、ご寄贈いただければ所蔵するか検討させていただきます。

●その他

①クラウドファンディングについて

山本中央図書館長

「子どもたちへ「本よ届け！」～図書館 児童書充実プロジェクト～」と題して、本市図書館では、児童書コレクションの充実を図ることを目的にクラウドファンディングをおこなう。

運営会社はREADYFOR株式会社、実施期間は令和7年9月1日～令和7年11月30日までの90日間とし、目標金額は100万円で設定した。

このクラウドファンディングでご寄附いただいたお金は、読み聞かせに活用できる資料や外国にルーツを持つ子ども達のニーズに答える資料、保育園・幼稚園・学校への多くの本がいきわたるように複本の購入等に充てる。

返礼品は、オリジナルブックカバーやオリジナルのしおり、また、今回の寄附でいただいたお金で購入した本に名前を掲載するなどの品を考えている。

今後の広報活動等は、富田林市の広報誌9月号に掲載し図書館のウェブサイト、チラシの配布、SNSなどを活用する。多くの方にこのプロジェクトを知っていただき、目標を達成できるようPRに努めたい。

②富田林おはなしの会40周年行事について

【委員】

私たち富田林おはなしの会が2年前に40周年を迎え、学校や幼稚園におはなし会に行くようになってから39年たった。2年遅れになるが40周年の記念行事を開催する。

いつもは子どもたちにおはなしを届けているが、今回は子どもから大人までいろんな方におはなしの楽しさを知っていただこうと企画した。よければ参加して欲しい。

7 会議資料

会議次第

令和6年度（2024年度） 富田林市の図書館活動

令和7年度施政方針（抜粋）

令和7年度 図書館活動計画 図書館事業

令和7年度 図書館活動計画 図書館予算

富田林市立図書館協議会委員名簿

チラシ

「とっぴーと読もう！富田林市読書感想文コンクール」チラシ

「認知症の本を読もう！MEET★富田林コンクール」チラシ

今年度開催予定の図書館行事のチラシ

児童行事 「リサイクル工作」関係 3種類

児童行事 「やってみよう図書館の仕事」

「乳幼児サービスボランティア養成講座」

一般行事 「いきいき音読教室」

一般行事 「おとなのための朗読会」2種類

本の案内

「夏のおてがみ」4種類

「えほんで子育て」5種類

「えほんいろいろ No.167」

「YA通信 第70号」

以上